

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業			事業番号	010-044
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境事業管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
			有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保			
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)つくる責任つかう責任	ターゲット	12.2,12.5	
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量			
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	628g(2025年度)		
			現状値	643g(2019年度)	目標値	638g(2023年)		
2	関連計画	堺環境戦略、堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度	平成 29 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	水銀による環境の汚染の防止に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民	対象数	823,731			単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	家庭から排出される水銀使用廃製品を適正に回収・処理（リサイクル）することにより、水銀による環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。また、水銀使用廃製品のリサイクルを推進する。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・家庭から排出される蛍光灯、乾電池、水銀体温計等の水銀使用廃製品について、国のガイドラインに基づき、分別回収（拠点回収）・適正処理（水銀回収・リサイクル）を行う。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	収集運搬業者、処理（リサイクル）業者						
10	公民連携・協働事業	市内協カスーパー等での回収						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和7年度
	水銀使用廃製品等回収量	kg	目標値	109,140	108,000	119,000	111,000	
			実績値	116,165	124,342			
達成率			106%	115%				
	当該指標を選定した理由	水銀使用廃製品の回収は、水銀等の環境への排出を抑制し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度：前年度実績値を基準、令和3年度～令和4年度：堺市一般廃棄物処理実施計画、令和7年度：堺市一般廃棄物処理基本計画						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	回収拠点（回収ボックス設置拠点・回収協力店）設置数	箇所	目標値	83	83	83		
			実績値	89	88			
達成率			107%	106%				
	当該指標を選定した理由	市民の利便性を考慮しつつ、水銀使用廃製品の適正排出を促進するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	人口1万人あたりにつき1拠点設置						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業	事業番号	010-044
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	33,152	36,791	36,557	37,134	36,958
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	33,152	36,791	36,557	37,134	36,958
14 人件費 (b)	4,860	4,920	4,920	4,635	15,435
15 年間経費(c)=(a)+(b)	38,012	41,711	41,477	41,769	52,393

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	R4	決算			R3	決算	R4	決算	
16 事業費内訳	手数料	R3	決算	36,813	36,813	通信運搬費	R3	決算	8	8	
		R4	予算	36,754	36,754		R4	予算	23	23	
	印刷製本費	R3	決算	148	148	その他使用料及び賃借料	R3	決算	1	1	
		R4	予算	0	0		R4	予算	0	0	
	普通旅費	R3	決算	66	66		R3	決算			
		R4	予算	127	127		R4	予算			
	消耗品費	R3	決算	67	67		R3	決算			
		R4	予算	20	20		R4	予算			
	自動車借上料	R3	決算	31	31		R3	決算			
		R4	予算	34	34		R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 水銀使用廃製品等回収量	kg	116,165	124,342
② 上記①にかかる年間経費	千円	38,501	39,068
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	331	314

備考 (算出についての説明等) 対象品目の収集・処理・処分経費に係る経費に限定して計上している。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 市民への水銀使用廃製品の適正回収に対するさらなる周知を目的として、水銀使用廃製品の回収キャンペーンを各区で実施した。また、堺市の広報媒体（広報さかい、堺市ホームページ及びツイッター）を活用し、市民への周知を行った。その結果、昨年度より家庭内で保管されていた蛍光管等の排出があったものと考えられ、単位当たり経費は抑えられた。
なお、同広報媒体にて、事業系水銀廃製品の不適正排出による回収量増加を防ぐために、同広報媒体にて事業者への周知を引き続き行っている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 水銀使用廃製品を適切に処理することは、水銀による環境の汚染の防止に関する法律及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられている。水銀使用廃製品の分別回収により、環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与することができた。また、回収された水銀使用廃製品を適正処理することで、リサイクルの推進に寄与することができた。
水銀使用廃製品の分別回収は市民のごみ減量化の意識向上につながると考えられるため、KPIの達成に寄与している。